

株式会社NTTドコモとIoTを活用したまちづくりに関する包括的連携協定を締結しました

淡路市（以下「本市」という。）は、平成29年10月13日付けで株式会社NTTドコモ（以下「ドコモ」という。）と、データ利活用型スマートシティの実現を目的とした包括的連携協定（以下「本協定」という。）を締結しました。

地方において少子高齢化が進む中、本市とドコモは、淡路市第2次総合計画の将来像として掲げる『いつかきっと帰りたくなる街づくり』を推進するため、次に掲げることに取り組みます。

- ・IoT、AI、ビッグデータの利活用による地域課題の解決
- ・デジタルデータを活用できる人材の育成

ドコモとは、本年8月に経済産業省より選定を受けた淡路市IoT推進ラボの構成メンバーとして産官学及び金融機関とともに幅広い分野において相互協力し、地域課題をIoTを活用して解決するプロジェクトの創出、事業化を目指す主体や人材の育成・支援を行い、フィジビリティスタディ、実証実験・検証を行うことで、地域創生を推進します。


■兵庫県淡路市

・淡路市は「いつかきっと帰りたくなる街づくり」をテーマに掲げ、

- ① 住んでいる市民・住民が、快適で安全安心に生活できる街づくり
- ② 島外で働いている人達が、いつかきっと帰りたくなる街づくり「Uターン」
- ③ 淡路市を訪れた人達が、住んでみたくなる街づくり「Iターン」


をコンセプトに、様々な地域課題をIoTを活用した解決に取組み、新サービス（事業）の創出、人材・ベンチャー育成、経済発展を目指す。

・まずは、関西看護医療大学、女子プロ野球チーム（兵庫ディオネ）、観光協会等を中心に、各種スポーツ関連イベントを通じた、「健康（ヘルスケア）×教育×観光」でIoTを活用した新サービス創出の可能性を実証。



↑淡路市北部生活観光バス「あわ神あわ姫バス」

←淡路島の外周150kmを10時間で自転車が駆け抜けるイベント「淡路島ロングライド150」



淡路市IoT推進ラボの概要